日本学術会議 公開シンポジウム

# 婚姻平等とSOGI差別禁止

## ―学術会議の2つの見解から―

| | |
|---|---|
| 日　時 | 令和8（2026）年12月13日（日） 14:00〜17:00 |
| 会　場 | オンライン開催（Zoom使用・事前申込制） |
| 参加費 | 無料（一般参加歓迎） |

近年、性的マイノリティ（LGBTQ+）に関わる重要な司法判断が続いています。これを踏まえて、日本学術会議法学委員会社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会は、第26期に2つの見解（「婚姻の平等実現に向けた民法改正への提案」「性的マイノリティの権利保障をめざして(II)」）を公表しました。本シンポジウムでは、これら2つの見解を紹介し、理論と比較、当事者の意見を交えて今後の課題を展望します。

## プログラム　PROGRAM SCHEDULE

**14:00　開会挨拶（5分）**
島岡 まな（日本学術会議第一部会員／大阪大学大学院法学研究科教授）

**14:05　趣旨説明（10分：2見解の紹介）**
三成 美保（日本学術会議連携会員／追手門学院大学法学部教授）
鈴木 賢（日本学術会議連携会員／明治大学法学部教授）

**14:15　第1部：婚姻平等――最高裁判決を前に（50分）**
- **報告（20分）「憲法理論から」**
  大河内 美紀（日本学術会議第26期連携会員／名古屋大学大学院法学研究科教授）
- **報告（20分）「当事者として」**
  小野 はる（「結婚の自由をすべての人に訴訟」原告）
- **コメント（10分）「最高裁判決を前に」**
  木村 草太（日本学術会議連携会員／東京都立大学政治学研究科・法学部教授、ビデオ収録参加）

―― 休憩（10分） ――

**15:15　第2部：トランスジェンダーと性同一性障害特例法（50分）**
- **報告（20分）「日本法の現状と課題」**
  神谷 悠一（日本学術会議第26期連携会員／LGBT法連合会代表理事）
- **報告（20分）「トランスセクシュアル法から性別自己決定法へ―ドイツ法との比較から」**
  渡邉 泰彦（明治大学法学部教授）
- **コメント（10分）「当事者として」**
  鈴木 げん（「オペなしで！戸籍上も『俺』になりたい裁判」原告）

―― 休憩（10分） ――

**16:15　討論・全体質疑応答（40分）**

**16:55　閉会挨拶（5分）**
矢野 恵美（日本学術会議第一部会員／琉球大学法科大学院長・副学長）

［司会］ 鈴木 賢（日本学術会議連携会員／明治大学法学部教授）

**申込締切：2026年12月10日**

主催：日本学術会議法学委員会、法学委員会・心理学・教育学委員会合同
社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会

お申し込みはこちら
（事前登録制）
右記QRコードより
ご登録ください